

R6年度 事業名	工場立地助成事業
R5年度 事業名	工場立地助成事業

総合戦略 体系	131	『世界に挑戦』で、さばえる！稼ぐ地 域、魅力ある仕事をつくる	若者に魅力ある働く場の確保	企業立地の推進
------------	-----	-----------------------------------	---------------	---------

P L A N 計 画	部署名	商工観光課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	企業立地に対する優遇制度を整備し、県内外の優良企業の市内への立地を促進する。				
	概要	用地取得、工場等の建設等に対し、その経費の一部を助成することで、市内企業の流出防止と県内外の優良企業の市内への立地を促進する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	工場等の進出企業との協議。	
	現在	補助金等交付				

	活動指標							
	指標名	単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	誘致活動（企業訪問）	回	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	50	50	50	50	
	誘致活動（市内宅建協会金融機関、県企業誘致課等との意見・情報交換）	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2	2	
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	誘致企業数	件	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	4	2	1	1	
	計算根拠	市の助成を受けて市内に誘致された企業および市内企業の増設数	達成率	400	200	100	100	
			実数値					
				ランク	A	A	A	
	前年度ランク B、C の理由							

事業費

【単位：千円】

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	71,915	135,011	128,180	87,426	42,379
決算額	65,662	97,410	57,447	87,426	38,968

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	補助費等

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	7	1	2	610	工場立地助成金	58,470	42,379
2							
3							
4							
5以降							
						合計	42,379

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	9
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性

有効性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度

R6方向性⇒

維持

取組内容

引き続き用地取得、工場などの建設などにかかる経費の一部を助成することで、市内企業の高度化に寄与するとともに、市外優良企業の市内立地を促進する。

来年度へ向けて

R5年度の実績

企業1社の工場・事務所市内立地申請。

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題

これまでの実績から市内企業の成長に伴う、工場等の増設案件が多いため、中小企業が利用しやすい、現在の制度を継続。

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点

空き地、空き工場等の情報整理を進めることで、工場適地の情報提供を的確に行う。

R7方向性⇒

維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	街なか賑わいづくり振興事業
R5年度 事業名	街なか賑わいづくり振興事業

総合戦略 体系	422	『住みたいまち』で、さばえる！安心して 快適で魅力的なまちをつくる	魅力あふれるまちなかの創造	中心市街地の活性化
------------	-----	--------------------------------------	---------------	-----------

P L A N 計 画	部署名	商工観光課		開始年度	2008	終了年度	9999
	目的	中心市街地の活性化および商業者の人材育成と経営者の意識改革や商店街等各種商業団体の育成を図るとともに、中心市街地のイメージアップを行う。					
	概要	賑わい・憩い・癒しにあふれる個性と特徴のある街づくりのため、街なかの賑わいを創出し、商業者の人材育成、経営者の意識改革の促進、各種商業団体の活性化や周辺商業の振興を図るために商店街の活性化やイメージアップにかかる事業に対する支援を行う。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	商店街等各種商業団体に対して補助金等交付事務ならびに進捗管理業務		
	現在	補助金等交付					

活動指標									
指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
※設定困難				目標値					
				実績値					
成果指標									
指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
商業者自らが提案し取り組む活性化事業数			事業	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1	1	
計算 根拠	商業者からの新規提案事業数			達成率	100	100	100	100	
				実数値					
				ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	4,428	4,476	4,332	3,900	3,818		事業タイプ	単独事業
	決算額	1,952	2,017	2,575	2,597	3,368		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	7	1	2	205	街なか賑わいづくり振興事業費	31,804	3,818
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	3,818

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.25
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☐ ない ☒ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	10
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持	
取組内容	商店街対象の事業では、団体が数年に渡って実施してきた事業を整理し、収益性を高めて自走できる仕組みづくりを検討する。補助にあたってはその経済的な効果目標を明確に数値化し、補助の妥当性を確認しつつ、今後の事業の自走化への試金石としていく。		
来年度へ向けて	R5年度の実績 (商店街対象事業) 商店会等賑わい創出・販売促進事業補助金に関して、7団体に補助を実施した。 R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 (商店街対象事業) 集客を目的とする賑わい創出企画の支援だが、イベント単発では個店集客に繋がっていない。 (商業者対象事業) 空き店舗対策としてテナント誘致が必要であるが、利用目的によっては建築基準法や消防法の規制により改修費が高騰する場合があります、利用が限定される。 実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 (商店街対象事業) 団体へのイベント等への支援として、期待される効果を明確にすることで、将来的には各団体の企画が自主開催できるよう促す。 (商業者対象事業) 空き物件の整理を行うことで、所有者と利用希望者とのマッチングを図ることで市街地の活性化を目指す。 R7方向性⇒		維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由			

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度事業名	ものづくり振興交付金事業
R5年度事業名	ものづくり振興交付金事業

総合戦略体系	111	『世界に挑戦』で、さばえる！稼ぐ地域、魅力ある仕事をつくる	地場産業の技術を活かした新産業の創造	企業の経営基盤強化
--------	-----	-------------------------------	--------------------	-----------

PLAN計画	部署名	商工観光課		開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	地場産業団体等が行う産地の存続発展や活性化を目指す先見性のあるものづくり事業、それを支える人づくり事業や市場開拓事業および時代に適応した企業等の経営の合理化、技術の高度化、情報化、グローバル化への対応や消費者との交流活発化などを推進する事業を支援することを通じ、地場産業等の振興に資する。					
	概要	（一社）福井県眼鏡協会、（協）鯖江市繊維協会、越前漆器協同組合に対し、産地の存続発展や活性化を目指す先見性のあるものづくり事業、それを支える人づくり事業や市場開拓事業および時代に適応した企業等の経営の合理化、技術の高度化、情報化、グローバル化への対応や消費者との交流活発化などを推進する事業を支援することで、地場産業等の振興に資する。					
	法令等根拠	なし	実施形態	内容	眼鏡・繊維・漆器の各業界団体への交付事務ならびに進捗管理業を行う。		
	現在	補助金等交付					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	ものづくり振興交付金を活用した展示会出展企業数		社	目標値	150	150	150	150	150
				実績値	69	111	146	107	
	計算根拠	眼鏡(ワールドオブチカルフェア、IOFT、アイグラスフェア、香港展)100社、漆器(ギフトショー)6社、繊維(石田綿展の開催)		達成率	46	74	97.3	71.3	
				実数値					
			ランク	C	C	A			
	前年度ランク								
	B、Cの理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	23,115	36,200	46,900	40,100	39,600		事業タイプ	単独事業
	決算額	20,869	34,388	46,519	39,009	37,229		経費区分	補助費等
	【単位：千円】								

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	7	1	2	606	ものづくり振興交付金	50,000	39,600
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	39,600

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	デジタル田園都市国家構想交付金(国1/2)		2,500	
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	2,500

事業要員	正規職員	0.5
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☐ ない ☒ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	10
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	地場産業団体等が行う産地の存続発展や活性化を目指す各事業を支援することで地場産業の振興に資する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	各業界団体が行った地場産業振興の取組みに支援した。眼鏡協会においては、海外への展示会出展を再開した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	特になし。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	産業等によるサプライチェーンの分断などで産地内分業に支障が生じ、産地全体が弱体化してしまうことを防ぐためにも、消費喚起や経済活動の維持を目的とした地場産業振興の取組みへの支援は必要である。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	漆芸品保存事業
R5年度 事業名	漆芸品保存事業

総合戦略 体系	121	『世界に挑戦』で、さばえる！稼ぐ地域、魅力ある仕事をつくる	既存産業の高度化	地域産業の活性化
------------	-----	-------------------------------	----------	----------

PLAN 計画	部署名	商工観光課		開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	越前漆器展覧会市長賞作品を購入・保存するとともに、越前漆器伝統産業会館において作品を展示し、来場者に対して越前漆器のよさをPRする。					
	概要	後世に残すべき貴重な漆芸品を収集・保存し技術・技法の継承に努めるとともに、越前漆器伝統産業会館等において展示し来場者への閲覧に供することで越前漆器の持つ伝統・技術・技法を通してその良さをPRする。					
	法令等 根拠	なし	実施 形態	内容	新作の発表会である越前漆器展覧会において出品された、秀逸な作品を購入し、越前漆器の保存に努め技術・技法の伝承に努めるとともに、越前漆器伝統産業会館で展示し、越前漆器の素晴らしさをアピールする。		
	現在	市直営					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	保存件数(毎年)		件	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1	1	
	計算 根拠		達成率	100	100	100	100		
			実数値						
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	250	250	250	250	250		事業タイ	単独事業
	決算額	183	250	183	147	66		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	7	1	6	201	伝統産業会館管理費	28,064	250
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	250

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)
	1			
	2			
	3			
	4			
5以降				
			合計	0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	16

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ			
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ			
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み			
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
11	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	年1回の新作発表会である越前漆器展覧会に出品された秀逸な作品(鯖江市長賞)を購入・保存し、その伝統的技術、技法をアーカイブすることで、越前漆器の伝承に努める。 また作品の評価には技術力以外に、市場性も含まれていることから、各年の好まれる作品傾向の資料としても価値があり、引き続き産業資料として保存していく。 合わせて、越前漆器をPRし、漆器ファンを増やすため、市長賞となった秀逸な作品をイベント等で展示し、多くの方に鑑賞してもらう。	
来年度へ向けて	R5年度実績 越前漆器展覧会伝統的工芸品部門での鯖江市長賞を購入。 R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 購入した作品の有効活用、越前漆器を効果的にPRするための展示の実施。	
実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 特になし		
R7方向性⇒ 維持		
CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由		

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円): 0				
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円): 0				

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	勤労者生活安定資金融資事業
R5年度 事業名	勤労者生活安定資金融資事業

総合戦略 体系	352	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	誰もが自分らしく安心して暮らせるまち	誰もが地域で安心して暮らせるまちづくり
------------	-----	--------------------------------	--------------------	---------------------

P L A N 計 画	部署名	商工観光課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	勤労者の生活安定と福祉の向上を支援するため、低利子融資による負担軽減を図る。					
	概要	生活安定のために資金を必要とする勤労者に対し、金融機関と協調して低利子融資を行う。（単年度預託）					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	金融機関に対し預託を実施し、融資は金融機関が直接行う。		
	現在	その他					

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	広報紙等への掲載		回	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	2	2	2	2	
	制度内容のチラシ配布(金融機関窓口)		部	目標値	300	300	300	300	300
				実績値	1,000	1,000	300	300	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	融資実行率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100	100	
	計算 根拠	融資実行数/融資申請数		達成率	100	100	100	100	
				実数値	26/26	36/36	27/27	41/41	
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	34,413	34,413	34,410	23,510	22,408		事業タイ	単独事業
	決算額	34,413	34,413	34,410	22,101	22,408		経費区分	貸付金

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	5	1	1	605	労働者生活安定資金等預託金	24,693	22,408
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	22,408

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.05
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				効率性 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ				
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み				
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☐ ない ☒ ある				
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	有効性 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
10	0点～8点 9点～16点	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善	維持または事務改善	

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組 内容	労働者の継続的な生活安定のため、引き続き、金融機関と協調して労働者に対し低利子融資を行うことで負担軽減を図る。	

来年度へ 向けて	R5年度 の実績	27件、23,510千円の融資が行われた。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 労働者の生活安定は労働行政の根幹であり、市民の福利厚生に必要な事業である。	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 市内金融機関窓口にて周知する。	
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度 事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	未組織動労者信用保証料補給支援事業
R5年度 事業名	未組織動労者信用保証料補給支援事業

総合戦略 体系	352	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	誰もが自分らしく安心して暮らせるまち	誰もが地域で安心して暮らせるまちづくり
------------	-----	--------------------------------	--------------------	---------------------

PLAN 計画	部署名	商工観光課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	組合未組織動労者の融資利用時の負担を軽減し、生活の安定に資する。					
	概要	福井県労働者信用基金協会の信用保証を付して北陸労働金庫の融資を受けた未組織動労者に対して信用保証料の1/2相当額を補給する。 ただし、次の範囲を限度とする。 融資実行から5年以内。融資限度額(1)生活資金150万(2)福祉資金300万(3)住宅資金500万					
	法令等 根拠		実施 形態	内容	北陸労働金庫の融資を受けた未組織労働者に対して信用保証料の一部を補給する事務を行う。		
	現在	市直営					

活動指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
保証料補給実行率		%	目標値	100	100	100	100	
			実績値	0	100	0		
計算 根拠	保証料補給実行数/保証料補給申請数		達成率	0	100	0		
			実数値	0/0	3/3	0/0		
			ランク	-	A	-		
前年度 ランク B、Cの 理由								

事業費

【単位：千円】

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	380	100	100	50	50
決算額	10	0	41	0	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	補助費等

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	5	1	1	604	労働者等融資利子等補給事業費	100	50
2							
3							
4							
5以降							
						合計	50

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

事業要員	正規職員	0.01
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	9
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)

市民団体や事業者に業務委託しているか。
(1いる・0いない)

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない)

有効性

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)

☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度

R6方向性⇒

維持

取組内容

労働組合に加入していない勤労者(未組織勤労者)が北陸労働金庫の融資を受ける際の信用保証料の一部を補給する。
昨年度はコロナ禍の影響によりマイカー購入、住宅への投資といった融資利用の鈍化が見られてきたが、生活環境の改善により、利用回復が想定される。
未組織勤労者の生活安定を目的に、引き続き事業を継続する。

来年度へ向けて

R5年度の実績

未組織勤労者保証料補給対象者0件であった。

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題

特になし。

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点

R6年度中に福井県労働者信用保証協会が事業終了する。事業移管先の日本労信協では信用保証料補給がなくなるため、事業終了する。

R7方向性⇒

廃止

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円):

0

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円):

0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	鯖江市家内労働指導センター運営補助事業
R5年度 事業名	鯖江市家内労働指導センター運営補助事業

総合戦略 体系	142	『世界に挑戦』で、さばえる！稼ぐ地域、魅力ある仕事をつくる	ジェンダー平等で働く誰もが輝けるまちの創造	ワーク・ライフ・バランスの推進
------------	-----	-------------------------------	-----------------------	-----------------

P L A N 計 画	部署名	商工観光課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	家庭外での就労が困難な人への内職斡旋・相談や技術指導などの充実を図る。				
	概要	家内労働指導センターが行う内職斡旋・相談および技術指導事業等に対し、事業実績を審査し補助金を交付する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	家内労働指導センターが行う内職斡旋・相談および技術指導事業等に対し、補助金交付事務ならびに進捗管理業を行う。	
	現在	補助金等交付				

	活動指標							
	指標名	単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難		目標値					
			実績値					
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	受注件数	件	目標値	160	160	160	140	140
			実績値	150	147	126	123	
	計算 根拠	過去3年間平均141件を参考に設定(2024)	達成率	93.8	91.9	78.8	87.9	
			実数値					
			ランク	B	B	C		
	前年度 ランク B、Cの 理由	一定の内職希望者がいるが、仕事量は景気に左右される。						

事業費

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	1,000	900	1,000	1,000	1,000
決算額	1,000	900	1,000	1,000	1,000

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	5	1	1	601	家内労働指導センター補助金	1,000	1,000
2							
3							
4							
5以降							
合計							1,000

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員

事業要員	正規職員	会計年度職員	※所要時間
			45

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ)

☐ はい ☒ いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ)

☒ はい ☐ いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)

☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある)

☒ ない ☐ ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある)

☒ ない ☐ ある

合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
9	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)

☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)

☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)

☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。
(1いる・0いない)

☐ いる ☒ いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない)

☐ いる ☒ いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)

☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度

R6方向性⇒維持

取組内容

家屋外での就労が困難な人への内職幹旋・相談や技術指導など充実を図る。受注増を目的とした広報を2回行い、引き続き、支援継続をする。

来年度へ向けて

R5年度の実績

前年度に比べ、就労人員は369人、受託件数126件と減少し、目標値にまで達しなかった。

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題

一定の内職希望者がいるが、仕事量は景気に左右される。

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点

特になし。

R7方向性⇒維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

R6年度 事業名	労働環境向上支援事業
R5年度 事業名	労働環境向上支援事業

総合戦略 体系	142	『世界に挑戦』で、さばえる！稼ぐ地域、魅力ある仕事をつくる	ジェンダー平等で働く誰もが輝けるまちの創造	ワーク・ライフ・バランスの推進
------------	-----	-------------------------------	-----------------------	-----------------

P L A N 計 画	部署名	商工観光課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	市内事業所の労働環境の改善など労働者の権利維持など、労働環境向上に向けた取組みに対して、支援援助を行う。				
	概要	市内事業所における労働者の労働環境向上に向けた取組に対し、事業を審査し補助金を交付する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	市内事業所における労働者の労働環境向上に向けた取組に対し、補助金交付事務ならびに進捗管理業を行う。	
	現在	補助金等交付				

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	メーデー参加者数		人	目標値	1,500	1,500	1,500	1,500	
				実績値	451	463	1,200		
	計算 根拠	平成29年度からカウント形式が変わったため、メーデー参加人数に変更	達成率	30	30.9	80			
			実数値						
				ランク	C	C	B		
	前年度 ランク B、Cの 理由	メーデー参加人数が目標に達しなかったため							

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	500	250	250	200	200		事業タイ	単独事業
	決算額	500	250	0	0			経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	5	1	1	602			200
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	200

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	30

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	9
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	市内事業所の労働環境の改善など労働者の権利を維持するための法的に行われる、組織強化活動事業に対して、支援援助を行う。 ・事業所の労働環境の改善 ・労働者の教育、文化、その他の福祉活動等の支援	

来年度へ向けて	R5年度の実績	連合福井丹南地域協議会へ事業補助を行う予定であったが、事業の実施がなかった。メーデーについては、コロナ前同様の開催であった。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	連合福井丹南地域協議会の活動に対する補助額の妥当性を踏まえ、事業補助としての仕立て直しを行ったところ、該当する補助事業の実施がなかった。 ※県内自治体で連合に活動補助金を出している自治体は本市を含め3市のみ(越前市50万円、敦賀市15万円(地域行事・商店街イベントへの条件)、※福井市、大野市、勝山市では以前は補助していたが数年前に廃止。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	今後、必要があれば連合福井が自主事業として実施するため事業終了する。
	R7方向性⇒	廃止
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	鯖江市シルバー人材センター運営補助事業
R5年度 事業名	鯖江市シルバー人材センター運営補助事業

総合戦略 体系	343	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	すべての人が健康で生涯青春のまち	高齢者・シニアの雇用対策
------------	-----	--------------------------------	------------------	--------------

PLAN計画

部署名	商工観光課		開始年度	0	終了年度	9999
目的	高齢者の就業機会の確保と就業情報の提供を行う鯖江市シルバー人材センターの運営および事業に対して支援・援助を実施し、高齢者の働く環境づくりを推進する。					
概要	高齢者の働く生きがいがいつくりを推進する鯖江市シルバー人材センターの運営および各種事業（高齢者の就業機会の確保・情報提供事業、学童保育の実施等）に対し、補助金を交付する。					
法令等根拠	高齢者等の雇用の安定等に関する法律		実施形態	内容	高齢者の働く生きがいがいつくりを推進する鯖江市シルバー人材センターの運営および各種事業（高齢者の就業機会の確保・情報提供事業、学童保育の実施等）に対し、補助金交付事務ならびに進捗管理業を行う。	
現在	補助金等交付					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	シルバー人材センター会員数		人	目標値	580	540	525	526	506
				実績値	514	509	511	492	
	計算 根拠	前年実績の年3%増加を目指す	達成率	88.6	94.3	97.3	93.5		
			実数値						
			ランク	B	B	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

事業費

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	10,450	11,380	12,590	12,600	12,660
決算額	10,450	11,380	12,590	12,600	12,660

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	補助費等

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	5	1	1	603	鯖江市シルバー人材センター補助金	13,750	12,660
2							
3							
4							
5以降							
						合計	12,660

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	50

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☐ ない ☒ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	9
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	鯖江市シルバー人材センターが行う高齢者の就業機会の確保・情報提供事業、学童保育の実施等に対し、補助金を交付する。更に会員数増強や女性会員増を目的に市広報での告知を年2回行う。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	受託件数3,795件で前年度より316件の減少。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	会員数、受託件数の増加を図る。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	高齢者の就業機会の増大に伴い、会員数の減少傾向は続くと想定されるが、シルバーセンター事業PRにより会員確保に注力する。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	中小企業振興資金等融資事業
R5年度 事業名	中小企業振興資金等融資事業

総合戦略 体系	111	『世界に挑戦』で、さばえる！稼ぐ地域、魅力ある仕事をつくる	地場産業の技術を活かした新産業の創造	企業の経営基盤強化
------------	-----	-------------------------------	--------------------	-----------

PLAN 計画	部署名	商工観光課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	市内中小企業等に対し資金需要の円滑化と経営健全化に必要な資金の融資を行うことにより中小企業等の事業振興を図る。					
	概要	金融機関と協調することで資金需要の円滑化と経営健全化のために資金を必要とする中小企業等に低利子融資を行う。(前年度12月末金融機関別融資残高により預託)					
	法令等 根拠		実施 形態	内容	市は預託を実施し、金融機関と協調して低利子融資を行う。融資申込書を市で受付し、金融機関が直接融資を行う。		
	現在	その他					

活動指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
金融機関との打合せ会議		回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	1	2	2	2	
広報紙等への掲載		回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	3	
制度内容のチラシ配布(金融機関窓口)		枚	目標値	500	500	500	500	500
			実績値	1,000	1,000	500	500	
成果指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
融資実行率		%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	
計算 根拠	融資実行数/融資申請数		達成率	100	100	100	100	
			実数値	77/77	78/78	82/82	111/111	
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	495,737	0	0	269,553	235,152		事業タイプ	単独事業
	決算額	495,737	0	0	269,553	235,152		経費区分	貸付金

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	7	1	2	701	中小企業資金等預託金	262,449	233,893
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	233,893

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	1
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				効率性 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している 業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している 市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☒ いる ☐ いない 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない 有効性 成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ				
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み				
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☐ ない ☒ ある				
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	
10	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善	
	9点～16点	維持または 事務改善		

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組 内容	制度融資の利用状況は昨年度に比べ僅かに増加している。引き続き、市内中小企業の資金需要の円滑化と経営健全化のために、金融機関と協調することにより、中小企業に低利融資を行う。	

来年度へ 向けて	R5年度の実績	市の制度融資申込件数についてはR4年度に比べ微増した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	市の制度融資申込件数についてはR4年度に比べ微増し82件であった。返済開始後の各事業者の状況を注視するとともに、新たな資金需要に備える。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	制度融資の見直しについて、金融機関と随時協議。
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度事業名	小規模事業経営改善指導等事業補助金
R5年度事業名	小規模事業経営改善指導等事業補助金

総合戦略体系	111	『世界に挑戦』で、さばえる！稼ぐ地域、魅力ある仕事をつくる	地場産業の技術を活かした新産業の創造	企業の経営基盤強化
--------	-----	-------------------------------	--------------------	-----------

PLAN計画	部署名	商工観光課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	巡回や窓口を通じた相談・指導により市内小規模事業者の経営安定と経営革新を支援し、変化する時代に合った経営の基礎知識やノウハウ等の講習講演会の開催、各種法改正に伴う支援事業等を行うことで、市内商工業の振興を図る。				
	概要	鯖江商工会議所が行う小規模事業者への経営改善指導、経営や税務に関する巡回・窓口相談事業、経営者や幹部・新人教育に関する講習講演会の開催事業、中小企業経営相談所の運営等に関する費用に対し、補助金を交付する。				
	法令等根拠		実施形態	内容	鯖江商工会議所が行う小規模事業者への経営改善指導等に対し、補助金交付事務ならびに進捗管理業務を行う。	
	現在	補助金等交付				

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	経営相談実施率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100	100	
	計算 根拠	相談実施件数/相談申込数	達成率	100	100	100	100		
			実数値	386/386	416/416	417/417	416/416		
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	10,300	9,270	8,343	8,000	8,000		事業タイ	単独事業
	決算額	10,300	9,270	8,343	8,000	8,000		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	7	1	2	608	小規模事業経営改善指導等補助金	8,600	8,000
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	8,000

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0
	会計年度職員	0
	※所要時間	45

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある

合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
11	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
有効性	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	変動する経済活動に対応するために市内小規模事業者のニーズに対応した相談や経営改善指導セミナー等の開催および創業希望者へのセミナー、相談支援を強化することにより、引き続き、小規模事業者の経営安定および市内創業者数の増加を目指す。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	経営指導員による指導を417回実施した。また、経営指導以外にも講習会、専門家による個別指導を303企業対象に実施した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	特になし。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	特になし
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度事業名	中小企業利子等補給支援事業
R5年度事業名	中小企業利子等補給支援事業

総合戦略体系	111	『世界に挑戦』で、さばえる！稼ぐ地域、魅力ある仕事をつくる	地場産業の技術を活かした新産業の創造	企業の経営基盤強化
--------	-----	-------------------------------	--------------------	-----------

PLAN計画	部署名	商工観光課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	中小企業者への利子補給により融資返済の負担を軽減し、経営安定の支援を行う。					
	概要	中小企業を対象とした融資返済の負担を軽減するため、利子補給を行う。 ・中小企業振興資金および小規模企業経営改善資金（マル経資金）～融資実行から1年間、融資額500万円を限度に貸出利率の1％相当額を補給 ・小規模企業者特別資金～融資実行から3年間、利子補給融資額500万円を限度に貸出利率の1％相当額を補給					
	法令等根拠		実施形態	内容			
	現在	補助金等交付		中小企業を対象とした融資返済の負担を軽減するため、利子補給の事務を行う。			

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	融資件数		件	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	77	78	82	110	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	利子補給実行率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100	100	
	計算根拠	利子補給実行数/利子補給申請数		達成率	100	100	100	100	
				実数値	353/353	324/324	308/308	264/264	
			ランク	A	A	A			
前年度ランク									
B、Cの理由									

事業費

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	49,500	58,000	48,000	16,582	11,723
決算額	41,244	51,896	45,421	16,582	11,723

事業タイプ

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	補助費等

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	7	1	2	609	中小企業融資利子等補給事業費	12,300	5,900
2							
3							
4							
5以降							
						合計	5,900

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

事業要員

正規職員	0.3
会計年度職員	
※所要時間	0

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☐ ない ☒ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	10
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない

有効性

成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない
--	---

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	制度融資の利用状況は昨年度に比べ僅かに増加しているが、新型コロナウイルスや原油高などの影響により変動がある。引き続き、市内中小企業の資金需要の円滑化と経営健全化のために、金融機関と協調することにより、中小企業に低利融資を行うとともに、利子補給を行うことにより、融資返済負担の軽減支援を行う。	
来年度へ向けて	R5年度実績 308件、16,582千円の利子補給を行った。	
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 特になし	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 特になし	
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円):

0

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円):

0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	企業立地促進資金融資事業
R5年度事業名	企業立地促進資金融資事業

総合戦略体系	131	『世界に挑戦』で、さばえる！稼ぐ地域、魅力ある仕事をつくる	若者に魅力ある働く場の確保	企業立地の推進
--------	-----	-------------------------------	---------------	---------

PLAN計画	部署名	商工観光課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	市内で活動する企業を増やし、産業の活性化に資する。					
	概要	金融機関と協調して鯖江市で製造業、ソフトウェア業または試験研究所を新たに整備しようとする中小企業に低利子融資を行う。（前年度12月末金融機関別融資残高により預託）					
	法令等根拠		実施形態	内容	市は預託を実施し、融資は金融機関が直接行う。		
	現在	その他					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	金融機関との打合せ会議		回	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	2	2	2	2	
	制度内容のチラシ配布(金融機関窓口)		部	目標値	500	500	500	500	500
				実績値	1,000	1,000	500	500	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	融資実行率		件	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	-	-	-	-	
	計算 根拠	融資実行件数		達成率	-	-	-	-	
				実数値	0/0	0/0	0/0	0/0	
				ランク		-	-	-	
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	11,463	0	0	3,758	1,259		事業タイプ	単独事業
	決算額	11,463	0	0	0	0		経費区分	貸付金

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	7	1	2	701	中小企業資金等預託金	262,449	1,259
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	1,259

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.01
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ			
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ			
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み			
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☐ ない ☒ ある			
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
9	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☒ いる ☐ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	鯖江市企業立地促進条例および規則、要綱に基づき、金融機関と協調して鯖江市で製造業、ソフトウェア業等を新たに整備しようとする中小企業に低利子融資を行うことで、産業の活性化を図る。 利用実績は少ないが、借入額も大きく、返済継続中の企業もあることから、残高預託を要することもあり維持とする。	
来年度へ向けて	R5年度実績 新規立地企業による利用者なし R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 新規立地事業者への資金繰りについては各メインバンクの融資制度を活用しているケースが多い。 市場動向が不透明な中、今後の金利情勢を含めた対応が必要。	
実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 借入額も大きく、返済継続中の企業もあることから、事業継続する。		
R7方向性⇒ 維持		
CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由		

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	中小企業信用保証料補給支援事業
R5年度 事業名	中小企業信用保証料補給支援事業

総合戦略 体系	121	『世界に挑戦』で、さばえる！稼ぐ地域、魅力ある仕事をつくる	既存産業の高度化	地域産業の活性化
------------	-----	-------------------------------	----------	----------

P L A N 計 画	部署名	商工観光課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	中小企業者の融資利用時の負担を軽減し、経営の安定に資する。				
	概要	中小企業に対する融資を利用する際の負担を軽減するため、保証協会へ一括納入した信用保証料の一部を補給 ①中小企業振興資金：信用保証料の1/2相当額を補給 ※鯖江市ものづくり支援機構が実施するチャレンジ企業応援補助金の交付決定を受けた者については保証料全額を補給 ②小規模企業者特別資金：信用保証料全額補給 ③県経営安定資金（セーフティネット保証支援分）：信用保証料の1/3相当額を補給（補給限度額10万円）				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	中小企業に対する融資を利用する際の負担を軽減するため、保証協会へ一括納入した信用保証料の一部を補給する事務を行う。	
	現在	市直営				

D O 実 施	活動指標									
	指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	中小企業振興資金融資件数			件	目標値	20	20	20	20	20
					実績値	32	30	33	49	
	成果指標									
	指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	保証料補給実行率			%	目標値	100	100	100	100	100
					実績値	100	100	100	100	
	計算 根拠	保証料補給実行数／保証料補給申請数			達成率	100	100	100	100	
					実数値	54/54	64/64	60/60	77/77	
				ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由										

事業費

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	8,500	5,660	6,945	6,340	7,545
決算額	5,190	5,660	6,945	6,340	7,545

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	7	1	2	609	中小企業融資利子等補給事業費	12,300	6,500
2							
3							
4							
5以降							
						合計	6,500

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

事業要員

正規職員	0.2
会計年度職員	
※所要時間	0

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある

合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
11	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。
(1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない

有効性

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度

R6方向性⇒

取組内容

制度融資の利用状況は昨年度に比べ僅かに増加しているが、新型コロナウイルスや原油高などの影響により変動がある。引き続き、市内中小企業の資金需要の円滑化と経営健全化のために、金融機関と協調することにより、中小企業に低利融資を行うとともに、信用保証料補給を行うことにより、融資返済負担の軽減支援を行う。

来年度へ向けて

R5年度の実績

予算額6,000千円に対し、60件、6,340千円の保証料補給を行った。

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題

特になし

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点

特になし

R7方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円):

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円):

R6年度 事業名	つつじまつり開催事業
R5年度 事業名	つつじまつり開催事業

総合戦略 体系	253	『市民主役』で、さばえる！ひとが集い、挑戦できるまちをつくる	地域資源を活かす観光の推進	西山公園エリアの充実
------------	-----	--------------------------------	---------------	------------

P L A N 計 画	部署名	商工観光課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	日本海側随一である約5万株(11種類)のつつじを誇る“日本の歴史公園百選 西山公園”を中心とした「つつじ」のイベントを開催し、県内外から観光客の定着を図るとともに、鯖江市の観光振興および地場産業の活性化に資する。				
	概要	つつじまつり実行委員会を組織し、西山公園のつつじを観光素材とした「つつじまつり」を5月のGWに開催する。開催にあたっては、西山公園のつつじを楽しむ場を創出し、鯖江市の観光誘客に向けた情報発信を行う。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	商工会議所内につつじまつり実行委員会を設置し、商工会議所、観光協会および市が事務局として委員会に加わり、それぞれ負担金を支出して開催する。	
	現在	補助金等交付				

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	つつじまつり来場者数		人	目標値	150,000	100,000	100,000	100,000	100000
				実績値	-	74,000	78,000	127000	
	計算 根拠	2018～ 会期期間 3日 2020～2021 中止	達成率	-	74	78	127		
			実数値						
			ランク	-	C	C			
	前年度 ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルス感染症拡大以前は3日間の開催もあり、来場者は100,000人以上をカウントしていたが、2023年度は2日間の開催であったため。							

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	6,200	4,500	4,000	4,000	8,000		事業タイプ	単独事業
	決算額	698	1,470	4,000	4,000	8,000		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	7	1	3	204	つつじまつり開催事業費	8,565	8,000
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	8,000

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	丹南広域可観光協議会補助金		1,000	
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	1,000

事業要員	正規職員	0.25
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	10
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
有効性	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
取組内容	新型コロナウイルス感染症拡大以前のように開催期間を3日間にし、商工会議所青年部のステージイベントやおもてなし会による案内テントの実施。また、能登半島地震復興支援や広域観光の物産展などを開催。	
来年度へ向けて	R5年度実績 5月3・4日の二日間の開催を実施。期間中にはサンドーム福井でコンサートも行われていた。	
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 まつりの実施を検討していく必要あり。	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 市制70周年のつつじまつりということで、他団体と調整の上、つつじまつりを実施していく。	
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	観光協会補助事業
R5年度 事業名	観光協会補助事業

総合戦略 体系	251	『市民主役』で、さばえる！ひとが集い、挑戦できるまちをつくる	地域資源を活かす観光の推進	産業観光の充実
------------	-----	--------------------------------	---------------	---------

P L A N 計 画	部署名	商工観光課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	まちなか観光、産業観光等、本市の特色ある観光振興を図る。				
	概要	一般社団法人鯖江観光協会の業務運営に補助し、観光の振興に寄与する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	一般社団法人鯖江観光協会が行う業務運営に対し、補助金交付事務ならびに進捗管理業を行う。	
	現在	補助金等交付				

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	観光客入込数		人	目標値	1,800,000	1,800,000	1,800,000	1,800,000	1,800,000
				実績値	1,202,599	1,548,571	1,371,010	1,605,000	
	計算 根拠		達成率	66.8	86.0	76.2	89.1		
			実数値						
			ランク	C	B	C			
前年度 ランク B、Cの 理由	西山公園と道の駅西山公園の来場者が前年より減少したため。								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計					
	予算額	11,400	9,370	9,186	9,647	11,500		事業タイ	単独事業					
	決算額	11,400	9,370	9,186	9,647	9,533		経費区分	補助費等					
	No							款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	7	1	3	602	観光協会等補助金		11,840	11,500					
	2													
歳出予算	3													
	4													
	5以降													
												合計	11,500	
補助金等	No	R6年度補助金等名称								金額(千円)				
	1													
	2													
	3													
	4													
	5以降													
											合計	0		
事業要員	正規職員	0.12												
	会計年度職員													
	※所要時間													

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	9
点数区分	0点～8点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	鯖江の産業観光や着地型旅行商品の開発のために、(一社)鯖江観光協会が行う事業について運営補助を行う。市内の観光情報を集約し、雑誌、WEB媒体等に対する情報発信を一手に担うことで、鯖江の観光窓口としての機能を強化する。また、InstagramなどSNSを活用した魅力発信事業に取り組み、「映える写真」を活用したポスターを制作し、PRするなど年間を通した誘客を目指すとともに、土産物の販売売上の拡大と収益性向上を目指し、組織の収益構造の強化に取り組む。	
来年度へ向けて	R5年度実績 鯖江の産業観光やまちなか観光活性化のために、(一社)鯖江観光協会が行う事業について運営補助を行った。	
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 市内の観光情報を集約し、雑誌、WEB媒体等に対する情報発信を一手に担い、鯖江の観光窓口としての機能強化については、今以上に取り組む余地がある。SNSなどを活用した情報発信強化に取り組む。	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 観光協会と協議のうえ、つつじまつりのみならず通年で西山公園にきた人が交通・食事・休憩の面で満足し、リピーターとなる取組みを検討する。また、観光窓口としての機能強化を目指すため、紙媒体だけに頼らず、SNSやWEBを活用した手法による主体的な情報発信の強化を図る。	
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	勤労者育児・介護休業生活資金利子補給事業
R5年度 事業名	勤労者育児・介護休業生活資金利子補給事業

総合戦略 体系	143	『世界に挑戦』で、さばえる！稼ぐ地域、魅力ある仕事をつくる	ジェンダー平等で働く誰もが輝けるまちの創造	創業等の支援（再掲）
------------	-----	-------------------------------	-----------------------	------------

P L A N 計 画	部署名	商工観光課	開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	育児・介護休業者の休業期間中の生活の安定と福祉の向上を図る。				
	概要	県の勤労者育児・介護休業生活資金融資利用者に対して、融資実行から5年間、利子全額を補給する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	県の勤労者育児・介護休業生活資金融資利用者に対して、融資実行から5年間、利子全額を補給する事務を行う。	
	現在	市直営				

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	広報紙等への掲載		回	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	0	0	0	0	
	制度内容のチラシ配布		部	目標値	100	100	100	300	300
				実績値	100	100	300	300	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	利子補給実行率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	-	-	-	-	
	計算 根拠	利子補給実行数/利子補給申請数		達成率	-	-	-	-	
				実数値	0/0	0/0	0/0	0/0	
				ランク	-	-	-		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	20	100	100	50	50		事業タイプ	単独事業
	決算額	0	0	0	0	0		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	5	1	1	604	労働者等融資利子等補給事業費	100	50
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	50

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	0.01
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	9
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	県の育児・介護休業生活資金利用者へ利子補給することで融資返済の負担を軽減し、育児・介護休業者の休業期間中の生活の安定と福祉の向上のため引き続き支援する。	
来年度へ向けて	R5年度実績 県の育児・介護休業生活資金利用者が無かった。	
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 近年利用者はないものの、勤労者の生活安定のために必要な制度である。	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 特になし	
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	就職支援事業
R5年度 事業名	就職支援事業

総合戦略 体系	132	『世界に挑戦』で、さばえる！稼ぐ地域、魅力ある仕事をつくる	若者に魅力ある働く場の確保	若者の就労機会の確保
------------	-----	-------------------------------	---------------	------------

P L A N 計 画	部署名	商工観光課		開始年度	2007	終了年度	9999
	目的	厳しい就業環境に直面している学生など求職中の若者に対し、希望する雇用に繋がるよう支援を行うとともに、地元高校生が地場産業を知り、地元での就職に繋がることを目的とする。					
	概要	就労関係機関と連携し、学生への合同企業説明会、求職中の若者への相談会実施。 地元高校生が、地場産業について理解できるよう、セミナーや企業訪問を実施。					
	法令等 根拠		実施 形態	内容 鯖江高校の生徒を対象に、地域産業の特徴を活かした学習（企業見学等）を実施する。			
	現在	民間等委託（全部）					

活動指標	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	就職支援セミナー開催数(H24～25・市民主役)ハローワークサマー求人企業説明会	回	目標値	8	8	8	8	8	
			実績値	4	4	5	5		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	就職応援事業への参加者数	人	目標値	760	760	760	1000	1000	
			実績値	991	905	1054	1002		
	計算根拠	就職支援セミナー参加者数(H24～25・市民主役)ハローワークサマー求人企業説明会	達成率	130.4	119.1	138.6	100.2		
			実数値						
				ランク	A	A	A		
前年度ランクB、Cの理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	85	80	80	65	627		事業タイ	単独事業
	決算額	0	37	34	50	626		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	5	1	1	202	就職支援事業費	1,333	65
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	65

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している	
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ					デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み					
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある					業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある					
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない	
11	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない	
	9点～16点	維持または 事務改善			

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	県内就労関連機関と連携しながら、各種セミナーや求人説明会等を実施する。求職中の市内学生や再就職を考えている人に対しては、就活応援セミナー等を開催し、市内高校生には、人手不足や後継者不足が進む中、地元企業への興味・関心を喚起するために、地元企業訪問等を開催する。また、県外学生の市内企業へのインターンシップを引き続き行い、鯖江での就職に繋がる取り組みを行う。	
来年度へ向けて	R5年度の実績 サマー求人企業説明会 参加者:732人 マザーズコーナーにて通年でマザーズセミナーを実施 参加者:59人 ふくい合同就職面接会 参加者:30人 ハローワークON Line 就職面接会 参加者:24人 わくわくワーク面接会・見学会 参加者:209人 R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 ハローワーク主催によるサマー求人企業説明会を実施。地場産業の市内企業の見学会などを通じて、市内企業の就職へ繋げる。R6年度は県内外の学生に市内企業を知ってもらうためのオープンカンパニー事業を行う。	
実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 オープンカンパニーに協力できる市内企業の掘り起こしと、連携先を中心とした県外大学等への情報発信を実施		
R7方向性⇒ 維持		
CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由		

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	「めがねのまち鯖江」元気再生事業
R5年度 事業名	「めがねのまち鯖江」元気再生事業

総合戦略 体系	121	『世界に挑戦』で、さばえる！稼ぐ地 域、魅力ある仕事をつくる	既存産業の高度化	地域産業の活性化
------------	-----	-----------------------------------	----------	----------

P L A N 計 画	部署名	商工観光課		開始年度	2010	終了年度	9999
	目的	鯖江市を中心とするものづくり産地「鯖江」は、世界最高峰の製造技術を持つ産地である一方、販売力に欠けることから、近年は、安価で大量生産を得意とする中国製品の台頭により、衰退の一途を辿っている。そこで、「作るだけの産地」から「作って売る産地」への転換によるOEM依存体質からの脱却、産業観光の促進による「楽しみ・愛される産地」の実現を目指した取り組みを行う。					
	概要	「作るだけの産地」から「作って売る産地」への転換によるOEM依存体質からの脱却、産業観光の促進による「楽しみ・愛される産地」の実現を目指した取り組みを行う。眼鏡産地の再生をテーマに平成20年度から国の支援を受け取り組んできた各種実証実験の検証結果を受け、眼鏡以外の市内産業も対象に広げ、効果が見られた内容について継続した事業展開を図る。 産地ブランド力向上に向けた取組支援（産地情報拡散・PR強化）					
	法令等 根拠	なし	実施 形態	内容	RENEWの開催支援とものづくり産地のオープンファクトリーサミットを開催し、産地ブランド力の強化を行う。		
	現在	補助金等交付					

活動指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
関係者による協議会の開催		回	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	5	-	-	-	-
成果指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
デザイン力、マーケティング力強化のためのセミナー開催参加者数(2022年度まで)		人	目標値	250	250	-	-	-
			実績値	-	-	-	-	-
計算根拠			達成率	-	-	-	-	-
			実数値					
協議会加盟団体と意見交換会(2023年度から)		回	目標値			3	3	3
			実績値		-	-	4	-
計算根拠			達成率		-	-	133	-
			実数値		-	-	-	-
			ランク	-	-	-		
前年度ランクB、Cの理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	15,000	6,000	6,000	6,000	5,500		事業タイ	交付金事業
	決算額	5,987	4,892	4,182	5,334	4,982		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	7	1	2	611	地方の元気再生事業費	65,500	5,500
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	5,500

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	デジタル田園都市国家構想交付金(国1/2)		1,150	
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	1,150

事業要員	正規職員	0.3
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ		
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ		
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み		
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
12	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	市内企業の製品力・販売力の向上と「めがねのまちさばえ」としての産地ブランド確立を目的に、下記事業を継続発展させる。 ①産地ブランド力向上に向けた取組支援(「売れる商品」の試作・試験投入、企業ブランド力向上支援、産地情報拡散・PR強化) ②工房開放イベントRENEWによる商品力、経営力向上 ③産地PRサイト「さばえめがじん」による産地情報の発信 ④オープンファクトリーサミット開催	
来年度へ向けて	R5年度の実績	10月開催の産地工房開放イベント「RENEW」の企画運営の側面支援にも取り組むなど、産地鯖江のブランド化に向けた基盤確立に取り組んだ。さらに眼鏡産地情報発信サイトを活用し、めがねに対する魅力の認識向上を図った。また、併行して経営相談員による市内企業へのヒアリングおよび国県市の補助制度紹介なども行った。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	現状、市の負担金のみで事業を行っているため、協議会の構成団体が独自で事業費を捻出できる仕組みを構築する必要がある。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	神明地区を中心に、産業観光を推進する。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度事業名	さばえものづくり補助金
R5年度事業名	さばえものづくり補助金

総合戦略体系	111	『世界に挑戦』で、さばえる！稼ぐ地域、魅力ある仕事をつくる	地場産業の技術を活かした新産業の創造	企業の経営基盤強化
--------	-----	-------------------------------	--------------------	-----------

PLAN計画	部署名	商工観光課		開始年度	2011	終了年度	9999
	目的	企業が行う産地の活性化を目指す先見性のあるものづくり事業、それを支える人づくり事業や市場開拓事業を補助することを通じ、地場産業の振興に資する。					
	概要	市内の企業等が実施する事業に対して、下記のメニューに沿った補助金を支出する。(①地域産業人材育成支援事業、②地域産業組合等活力強化支援事業、③地域産業販路拡大支援事業、④産学官連携促進支援事業⑤海外市場販路開拓支援事業(H26～)、⑥デザインによるブランド育成支援事業⑦異分野見本市等出展支援事業⑧眼鏡直販ショップ開設促進事業⑨起業・創業促進支援事業⑩起業家(IT)等市内定住促進事業⑪市場調査支援事業(H27～)⑫創業スタートアップ支援事業⑬小規模製造業設備投資支援事業(H29～)⑭女性起業応援奨励金⑮女性活躍推進事業⑯身の丈IoT導入推進事業⑰未来の伝統工芸士育成支援事業⑱多様な働き方導入推進事業⑲チャレンジ企業応援補助金⑳成長分野新技術開発支援補助金㉑産地リーダー企業販路開拓支援事業㉒産地リーダー企業産学官連携推進事業					
	法令等根拠			実施形態	内容		
	現在	補助金等交付			各種補助事業者の取り組みに対し、補助金交付事務ならびに進捗管理業を行う。		

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	事業広報の実施		回	目標値	3	3	3	3	3
				実績値	3	3	3	3	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	鯖江の頑張るリーダー企業支援事業の実績数		件	目標値	53	55	55	100	100
				実績値	62	112	137	123	
	計算根拠	ものづくり補助金実績数2022年度から	達成率	117	203.6	249.1	123.0		
			実数値						
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	50,200	44,780	43,600	40,000	38,000		事業タイ	単独事業
	決算額	40,284	24,797	25,592	32,275	36,683		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	7	1	2	607	さばえものづくり補助金	43,120	38,000
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	38,000

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)
	1	デジタル田園都市国家構想交付金(国1/2)		8,500
	2			
	3			
	4			
	5以降			
		合計	8,500	

事業要員	正規職員	1.5
	会計年度職員	
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☐ ない ☒ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	12
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	海外販路開拓や異分野進出、人材育成、新製品販路開拓補助等、各種補助金を活用し、市内の頑張る企業を引き続き支援する。企業へのPRを強化し、制度を活用する企業を増やすことで、更なる産業振興を目指す。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	132件、32,275千円の補助を行った。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	市内事業所の実情に対応した補助メニューへの見直しを実施。更なる市内事業所への周知を図る。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	企業の利便性を高める補助事業へと見直しを行っていく。
	R7方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由		

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	学生滞在型まちづくり活動支援事業
R5年度 事業名	学生滞在型まちづくり活動支援事業

総合戦略 体系	211	『市民主役』で、さばえる！ひとが集い、挑戦できるまちをつくる	若者の夢を応援するまち	学生連携事業
------------	-----	--------------------------------	-------------	--------

P L A N 計 画	部署名	商工観光課	開始年度	2011	終了年度	9999
	目的	鯖江市に滞在し、まちづくりに関する調査・研究、スポーツ・学術研究等の合宿を行う学生のグループに対し、宿泊費の一部を助成し、滞在環境を整えることで、若い世代の呼び込みを図る。本市への滞在を通して地場産業や風土、人情に触れていただき、地域のPRを図るとともに、学生の若い感性による提案や提言を受け、まちづくりに生かしていく。				
	概要	鯖江市に滞在し、まちづくり等の調査、研究を行う学生のグループに対し、宿泊費の一部を助成する。 【提案型】まちづくりの研究を行い、市に対して提案、提言を行う。(1人泊あたり1,500円助成) 【合宿型】スポーツ・勉学等を行い、自己の体位・学力の向上に努める。(1人泊あたり1,000円助成) 【ゼミ合宿】ゼミにおいて研究テーマに本市に関する題材を取り上げる活動。(1人泊あたり1,500円助成)				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	補助事業者の取り組みに対し、補助金交付事務ならびに進捗管理業にあわせ、福井県に対し補助金交付申請を行う。	
	現在	民間等委託(一部)				

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	大学等への周知活動(HP掲載)回数		回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	補助制度活用学生数		人泊	目標値	300	200	200	500	1000
				実績値	22	422	2,234	1491	
	計算 根拠			達成率	7.3	211	1117	298.2	
				実数値					
				ランク	C	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	676	699	531	2,318	2,800		事業タイ	補助(県)事業
	決算額	150		431	2,318	2,037		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	7	1	3	206	観光誘客事業費	26,214	2,800
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	2,800

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	福井を学ぶ体験旅行推進事業補助金		1,900	
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	1,900

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	12
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	内容拡大
取組内容	制度を県外の旅行会社や大学等へのチラシ送付、ホームページおよびfacebook等でPRを通して営業活動を行うことで、学生合宿の誘致を促進する。また、合宿補助の要件として、ブログやSNSを活用した鯖江市のPRを行うことを必須としており、積極的な情報発信を促す。また、ラポーゼかわだや神明苑との連携強化により、学生の合宿場所としての活用をPRし、交流人口増加を目指す。	
来年度へ向けて	R5年度の実績 新型コロナウイルスの影響が長期化しつつも、大学側のリアル授業再開など、通常の生活に戻りつつあったため、学生合宿も復調していき、昨年度を大きく上回る実績となった。宿泊補助の宿泊数は2,234人泊であった。	
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 県外学生へのPRによる更なる誘客を行う必要あり。	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 特になし	
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	大学連携事業
R5年度 事業名	大学連携事業

総合戦略 体系	111	『世界に挑戦』で、さばえる！稼ぐ地域、魅力ある仕事をつくる	地場産業の技術を活かした新産業の創造	企業の経営基盤強化
------------	-----	-------------------------------	--------------------	-----------

PLAN 計画	部署名	商工観光課		開始年度	2012	終了年度	9999
	目的	学術機関等が有する知的資産を有効に活用した産学官連携事業を推進し、地域産業の発展に寄与する					
	概要	連携協定を締結している学術機関等と市内企業とのビジネスマッチングを推進し、新素材・新商品開発や既存産業のニューノーマルな社会への対応を促進するための啓発を実施する。					
	法令等 根拠		実施 形態	内容	鯖江商工会議所と連携し、連携協定を締結している学術機関等と市内企業とのビジネスマッチング事業を支援する。		
	現在	市直営					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	大学等との連携事業		事業数	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	2	2	2	3	
	計算 根拠	鯖江高校 1件 福井工業大学企業交流会 1件 北陸先端科学技術大学院大学 1件		達成率	100	100	100	150	
				実数値					
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	700	200	200	200	200		事業タイプ	単独事業
	決算額	84	0	78	173	44		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	7	1	2	608	小規模事業経営改善指導等補助金	8,600	200
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	200

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ			
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ			
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み			
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
12	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	大学連携事業として、地域資源が抱える課題解決への大学シーズ活用をはじめとした各種連携事業を積極的に行う。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	連携大学と地元企業との連携強化に向けシンポジウムや研究室紹介など交流機会を創出した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	連携大学から鯖江市企業へ訪問する機会が減少している。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	市内企業への訪問機会の創出を行う。
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	電動自転車レンタサイクル事業
R5年度 事業名	電動自転車レンタサイクル事業

総合戦略 体系	253	『市民主役』で、さばえる！ひとが集い、挑戦できるまちをつくる	地域資源を活かす観光の推進	西山公園エリアの充実
------------	-----	--------------------------------	---------------	------------

P L A N 計 画	部署名	商工観光課	開始年度	2014	終了年度	9999
	目的	現在、レンタサイクルの需要は20台/月ある。観光客に電動機付自転車をレンタルし、鯖江市の魅力を更に多くの人に見ていただき、感じていただくとともに、低炭素化社会の実現に寄与することを目的とする。また、拠点を複数おくことで、利用者の利便性向上を図る。				
	概要	電動機付自転車をハビラインふくい鯖江駅と道の駅西山公園に5台ずつ設置し、観光客等に対しレンタルする。自転車の管理運営を鯖江観光協会に委託する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	レンタサイクル運行業務を全て鯖江観光協会に移管する縦鼻を行う。また、レンタルスポットを福井鉄道神明駅も追加し、電動機付自転車を5台購入する。	
	現在	民間等委託(一部)				

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難		回	目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	電動機付自転車レンタサイクルの利用者数		人	目標値	200	300	400	500	500
				実績値	414	626	543	443	
	計算 根拠	2021年度＝(6月前年比32%+7月前年比41%)/2*500台＝183台≒200台		達成率	207	208.7	135.8	88.6	
				実数値					
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	83	89	75	76	801		事業タイプ	単独事業
	決算額	27	89	58	53	54		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	7	1	3	602	観光協会等補助金	11,840	801
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	801

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)
	1	レンタサイクル利用者負担金			150
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	150

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	11
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	事務改善(業務プロセスの改善)
取組内容	運営主体を民間事業者で行なえるかを検討するとともに、ドコモバイクシェアの導入を検討する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	道の駅西山公園での利用は118台、鯖江駅での利用は425台で全体は543台だった。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	サイクルポートの増設やキャッシュレス化、24時間の貸し出しも可能となり、更なる利用者の増加が見込まれるため、ドコモバイクシェアの導入を検討する。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	本事業は、利用者の多くが県外からの観光来訪者であり、新幹線開業後のさらなる観光交流促進のため、スマートフォンアプリと連動したシェアサイクルシステムの導入を検討する。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	アイウェアデザイナー育成事業(産学官連携事業)
R5年度 事業名	アイウェアデザイナー育成事業(産学官連携事業)

総合戦略 体系	132	『世界に挑戦』で、さばえる！稼ぐ地域、魅力ある仕事をつくる	若者に魅力ある働く場の確保	若者の就労機会の確保
------------	-----	-------------------------------	---------------	------------

P L A N 計 画	部署名	商工観光課	開始年度	2015	終了年度	9999
	目的	アイウェアデザイン教育を受けた学生が将来鯖江の眼鏡会社にてデザイナーとして就業することを目的とする。				
	概要	京都精華大学デザイン学部にて、市内眼鏡企画商社デザイナーによる「アイウェアデザイン教育」が行われており、その受講学生を対象に鯖江の眼鏡企業・工場見学やインターンシップを実施し、地場産業の素晴らしさや本物を学ぶ中で、作品（アイウェア）を制作するとともに、市内眼鏡企業への就職に繋げる。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	大学教授等と打合せを行い、京都精華大学のアイウェアデザイン教育の課外授業を鯖江市内（企業見学）で実施する。	
	現在	その他				

D O 実 施	活動指標									
	指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	鯖江市内工場見学			回	目標値	1	1	1	1	1
					実績値	-	1	1	1	
	成果指標									
	指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	参加学生数			人	目標値	12	12	12	12	12
					実績値	-	13	11	19	
	計算 根拠				達成率	-	108.3	91.7	158.3	
					実数値					
					ランク	-	A	B		
	前年度 ランク B、Cの 理由	参加学生のキャンセルが1名発生したため								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	※ゼロ予算
	予算額	0	0	0	0	0		事業タイプ	※ゼロ予算
	決算額	0	0	0	0	0		経費区分	※ゼロ予算

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1							
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	0

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	40

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				効率性 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ				
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み				
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	有効性 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
10	0点～8点 9点～16点	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善	維持または事務改善	

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	参加学生の人数についてはその年々で多少の差はあるものの、ツアー内容や日程などの取組み内容については、ほぼルーティン化されているおり、担当教諭陣も変更なく、円滑な事業遂行がなされている。 本事業への参加をきっかけに鯖江に移住し、産地内企業へ就業する学生も実際に出てきていることから、今後も継続して事業を行っていく必要性は高いと思われる。	
来年度へ向けて	R5年度の実績 2015年から京都精華大学との産学官連携事業の一つとしてスタートし、令和5年度については11名の学生が鯖江市内の企業を実際に見学した。 R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 産地見学会の実施により、アイウェアデザイン授業の中で学生が制作する眼鏡の材料選びや、製造方法について積極的に質問をしており、実際に産地を見学を実施することに大きな意味がある。	
実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 特になし		
R7方向性⇒ 維持		
CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由		

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円): 0	
R7年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円): 0	

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	越前ものづくりの里プロジェクト事業
R5年度 事業名	越前ものづくりの里プロジェクト事業

総合戦略 体系	262	『市民主役』で、さばえる！ひとが集い、挑戦できるまちをつくる	シビックプライドの醸成	ものづくりを核としたふるさと教育の推進
------------	-----	--------------------------------	-------------	---------------------

PLAN計画

部署名	商工観光課		開始年度	2015	終了年度	9999
目的	福井県の伝統工芸(越前漆器、越前和紙、越前打刃物、越前焼、越前箆簞)の各産地が丹南地域に集積している特色を活かし、産地が連携して職人の育成や産地の魅力向上に取り組むことにより、伝統的工芸品の知名度向上と需要拡大を図る。					
概要	工芸分野に携わりたいと考える若者等が、高い技能に加え、魅力ある商品づくりのためのデザインや経営的な視点を学ぶことができる「職人塾」事業および産地連携による地域ブランド力を向上するため、「見せる」「売る」「広げる」の3つの戦略を展開する。					
法令等根拠			実施形態	内容	越前漆器協同組合が行う職人塾への事業に対し、補助金交付事務ならびに進捗管理業務を行う。越前ものづくりの里プロジェクト運営協議会に出席し、産地発展の事業展開を検討する。	
現在	補助金等交付					

活動指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
育成する職人数		人	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	3	7	6	2	
計算 根拠			達成率	60	140	120	40	
			実数値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	21,565	18,956	21,565	22,214	13,012		事業タイ	補助(県)事業
	決算額	18,471	10,544	20,596	16,664	6,574		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	7	1	2	203	地域産業振興事業費	38,736	13,012
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	13,012

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	福井県伝統工芸職人塾補助金(推進交付金)		5,142	
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	5,142

事業要員	正規職員	0.75
	会計年度職員	
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	11
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
取組内容	県が中心となり、丹南5産地の伝統工芸振興を行うもの。「長期職人塾」から市内企業への就職者も出ていることから継続して後継者対策として実施する。また、5産地連携によるRENEW参加など伝統工芸品の発信力強化、販売増、産地への誘客に向けた効果も出てきていることから引き続き事業展開する。さらに、「未来の伝統工芸士育成支援事業」補助金を令和2年度に新設し、同プロジェクト長期職人塾修了生の更なる高度な技術の習得を後押ししている。	
来年度へ向けて	R5年度実績 長期職人塾6人の参加者	
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 職人塾のニーズはあり、産地企業でも受け入れ待ちの企業が数社ある。しかし、定数以上の希望者がおらず、十分な受講者数を確保できていない。産地連携事業については、産地間でも意見が分かれるため、協議の上見直しが必要。	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 特になし	
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	地域おこし協力隊による地域活性化推進事業
R5年度 事業名	地域おこし協力隊による地域活性化推進事業

総合戦略 体系	232	『市民主役』で、さばえる！ひとが集い、挑戦できるまちをつくる	河和田キャンパス（創造産地）の構築	交流人口増加への取組
------------	-----	--------------------------------	-------------------	------------

P L A N 計 画	部署名	商工観光課	開始年度	2016	終了年度	9999
	目的	鯖江市外の人材を活用し、地域の活性化に必要な施策を推進するとともに、鯖江市への定住および定着を促進する。				
	概要	関係人口の拡大と地域住民との連携による観光資源磨き上げ事業、交流観光拠点活用事業。鯖江市中心市街地の活性化事業。				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	地域おこし協力隊員と協議し市の施策を連携しながら推進し、活動内容の精査と支払い事務を行う。	
	現在	市直営				

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	プロジェクト提案数		件	目標値	6	6	6	4	2
				実績値	9	11	5	7	
	計算 根拠	地域おこし協力隊1人2件ずつ		達成率	150	183.3	83.3	175	
				実数値					
ランク				A	A	B			
前年度 ランク B、Cの 理由	地域おこし協力隊1名の委嘱が4月予定から11月に遅れたため。								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	8,009	11,940	11,940	15,920	9,567		事業タイ	補助(国)事業
	決算額	7,960	11,605	11,940	9,454	9,520		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	7	1	2	203	地域産業振興事業費	38,736	9,567
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	9,567

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	特別交付税		9,567	
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	9,567

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	10
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	地域おこし協力隊が地域のニーズに応えながら、地域の活性化に必要な施策に取組めるよう、隊員と定期的にミーティングを行い情報を共有する。 地域おこし協力隊は、①古民家活用促進、関係人口構築事業、②中心市街地活性化事業を2名で推進する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	令和5年度は2名の地域おこし協力隊によりスタートし、①古民家活用事業、観光事業②通年型産業観光の促進、移住および関係人口促進のための事業を実施し、11月からは1名を追加し、③中心市街地の活性化と鯖江PR事業に努めた。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	令和5年度は3名の地域おこし協力隊により①古民家活用事業、観光事業②通年型産業観光の促進、移住および関係人口促進事業③中心市街地活性化事業、鯖江PR事業を実施。令和6年度は2名体制で市の活性化のため活動。課題としては隊員と意思疎通が十分に出来ていないため、定例化されたミーティングの実施が必要である。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	令和7年度は1名の地域おこし協力隊により、中心市街地活性化事業、鯖江PR事業を実施予定。月1回のミーティングを定例化し、個人活動を効果的な活動へとつなげるように努める。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	キッズ・カンパニー事業
R5年度 事業名	キッズ・カンパニー事業

総合戦略 体系	241	『市民主役』で、さばえる！ひとが集い、挑戦できるまちをつくる	市民主役で絆を強め、特色を高めるまちづくり	市民主役の推進
------------	-----	--------------------------------	-----------------------	---------

P L A N 計 画	部署名	商工観光課		開始年度	2017	終了年度	9999
	目的	市内外の学生を対象に、起業・創業の体験を通じて、これからの時代に必要な「生きる力」を育み、「思考力、判断力、表現力」を養うことで、地域を担う人材育成を目指す。					
	概要	将来の地域を担う人材・起業家育成を目的に、鯖江商工会議所が実施する企業見学プログラムの実施を支援する。					
	法令等 根拠		実施 形態	内容	鯖江商工会議所の人材育成の取り組みに対し、補助金交付事務ならびに進捗管理業を行う。		
	現在	補助金等交付					

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	チラシの配布数		枚	目標値	1,600	1,600	1,600	1,600	-
				実績値	1,600	3,600	-	-	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	キッズカンパニーの開催		回	目標値	1	1	1		1
				実績値	1	1	-	-	
	計算 根拠			達成率	100	100	-	-	
				実数値					
	キッズカンパニーの参加者数		人	目標値	7	25	25	25	-
				実績値	24	18	-	-	
	計算 根拠			達成率	342.9	72	-	-	
				実数値					
				ランク	A	C	-		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	0	200	500	500	200		事業タイ	単独事業
	決算額	0	200	500	0	0		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	7	1	2	203	地域産業振興事業費	38,736	200
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	200

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				効率性 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ				
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み				
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☐ ない ☒ ある				
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	有効性 成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない
11	0点～8点 9点～16点	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善	維持または事務改善	

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容		

来年度へ向けて	R5年度の実績	プチ社長ゼミを行なったため、未実施。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 参加者増加につながる実施内容と周知方法を見直す必要あり。	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 令和6年度に、類似事業であるプチ社長ゼミを実施した。令和7年度、プチ社長ゼミの事業終了に伴い本事業も終了とする。	
	R7方向性⇒ 廃止	
CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由		

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度事業名	サテライトオフィス誘致事業
R5年度事業名	サテライトオフィス誘致事業

総合戦略体系	131	『世界に挑戦』で、さばえる！稼ぐ地域、魅力ある仕事をつくる	若者に魅力ある働く場の確保	企業立地の推進
--------	-----	-------------------------------	---------------	---------

PLAN計画	部署名	商工観光課		開始年度	2017	終了年度	9999
	目的	総務省が実施する「お試しサテライトオフィス」モデル事業により、「サテライトオフィス」誘致戦略の策定等を行い、地域での経済循環を創造することを目的とする。					
	概要	認定地域再生計画「空き家利活用マッチングプロジェクト」を活用し、空き家を利活用したサテライトオフィス誘致戦略を策定する。 1 三大都市圏に所在する企業等に対する事前調査、ニーズ調査・分析を行い戦略に反映する 2 誘致候補企業に対する広報活動の展開、サテライトオフィス体験スペースの整備、説明会開催（東京・大阪）／執務環境体験ツアー					
	法令等根拠		実施形態	内容	都市部企業誘致等イベントの参加とサテライトオフィス誘致補助金交付事務ならびに進捗管理業を行う。		
	現在	補助金等交付					

	活動指標									
	指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	誘致イベント参加				目標値	1	1	1	1	1
					実績値	1	1	1	1	
	成果指標									
	指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	誘致企業数			数	目標値	1	1	1	1	1
					実績値	0	1	1	0	
	計算 根拠	2020年度まで 累積値 2021年度から 新規誘致数			達成率	0	100	100	0	
					実数値					
ランク					C	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由										

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,500	1,700	1,700	1,181	7,186		事業タイ	補助(県)事業
	決算額	778	249	745	556	101		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	7	1	2	207	サテライトオフィス誘致事業費	3,425	7,186
	2							
	3							
	4							
5以降								
							合計	7,186

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)
	1	サテライトオフィス誘致補助金		3,987
	2			
	3			
	4			
5以降				
			合計	3,987

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				効率性 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している	
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ					デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み					
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☐ ない ☒ ある					業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある					
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	有効性 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☒ いる ☐ いない	
13	0点～8点 9点～16点	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善	維持または事務改善		

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	都市部企業誘致等イベントの参加とサテライトオフィス誘致補助金交付事務ならびに進捗管理業を行う。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	ワーケーションモニタツアーを実施した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	サテライトオフィスの現状も踏まえた事業再構築の必要あり。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	IT系から事務系全般に対象を広げる。産地見学、交流によるビジネスマッチングおよびオフィス誘致につなげる。
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	可能	可能	可能	不可能	可能
実施状況	実施	実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R7年度事業名	サテライトオフィス誘致事業	市民主役事業にかかる額(単位千円): 800

R6年度 事業名	生産現場におけるIT技術の導入事業
R5年度 事業名	生産現場におけるIT技術の導入事業

総合戦略 体系	121	『世界に挑戦』で、さばえる！稼ぐ地域、魅力ある仕事をつくる	既存産業の高度化	地域産業の活性化
------------	-----	-------------------------------	----------	----------

P L A N 計 画	部署名	商工観光課		開始年度	2020	終了年度	9999
	目的	知識や情報の不足からくる心理的な障壁から、IT技術の導入に消極的な本市地場産業に、具体的な導入事例を創って業界内で共有することで、市内企業への導入に弾みをつけることを目的とする。					
	概要	福井工業高等専門学校との連携の中、先進事例の見学やモデル事例の創出により、本市地場産業を中心にIT技術の導入による生産性向上に向けた動機づけを図る。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	福井工業高等専門学校に委託し鯖江市繊維協会・越前漆器協同組合と連携し、身の丈に合ったIT技術導入モデル事業所の創出と実施企業の見学会を実施。		
	現在	民間等委託(全部)					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	企業見学回数		回	目標値	2	2	2	1	1
				実績値	-	-	2	1	
成果指標									
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025	
AllIoT導入企業数		社	目標値	3	1	1	1	1	
			実績値	1	1	1	1		
			達成率	33.3	100	100	100		
計算 根拠			実数値						
			ランク		C	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由									

事業費

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	1,000	1,000	1,500	1,200	1,000
決算額	0	710	692	562	622

【単位：千円】

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	7	1	2	204			1,000
2							
3							
4							
5以降							
						合計	1,000

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1	デジタル田園都市国家構想交付金(国1/2)	500
2		
3		
4		
5以降		
合計		500

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☐ ない ☒ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	13
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
有効性	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
	☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度

R6方向性⇒ 事務改善(他事業との連携・統合)

取組内容

福井工業高等専門学校に委託し鯖江市繊維協会と連携し、身の丈に合ったIT技術導入モデル事業所の創出と実施企業の見学会を実施。

来年度へ向けて

R5年度の実績

R4年度のモデル企業での導入が困難となったことにより、連携企業を変更し、実施。

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題

R5年度はR4年度のモデル企業での導入が困難となったことにより、連携企業を変更し、実施。今年度、システムを完成させ、横展開を図る。

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点

今後はモデル企業の周知を進めていく。

R7方向性⇒ 廃止

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	未来の伝統工芸士育成支援事業
R5年度 事業名	未来の伝統工芸士育成支援事業

総合戦略 体系	121	『世界に挑戦』で、さばえる！稼ぐ地域、魅力ある仕事をつくる	既存産業の高度化	地域産業の活性化
------------	-----	-------------------------------	----------	----------

PLAN 計画	部署名	商工観光課		開始年度	2020	終了年度	9999
	目的	伝統的工芸品産業の後継者を支援する一環として、市内で伝統工芸の職人を目指し、起業または就業する者に対し奨励金等を交付。					
	概要	越前ものづくりの里プロジェクト伝統工芸職人塾（長期実習）の修了生（市民）を対象に200千円を交付。					
	法令等 根拠		実施 形態	内容	越前ものづくりの里プロジェクト伝統工芸職人塾（長期実習）の修了生を対象に越前漆器の産地に就業・起業を促し、対象者に奨励金等を交付する。		
	現在	補助金等交付					

活動指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
定着奨励金交付数		件	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	2	1	3	5	
成果指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
家賃補助を受けて市内で就業または起業した人数		人	目標値	2	1	1	1	1
			実績値	3	2	3	5	
計算 根拠			達成率	150	200	300	500	
			実数値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,220	800	1,600	1,380	4,200		事業タイ	単独事業
	決算額	500	600	200	600	1,000		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	7	1	2	607	さばえものづくり補助金	43,120	4,200
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	4,200

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	10
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	伝統的工芸品産業の後継者を支援する一環として、越前ものづくりの里プロジェクト伝統工芸職人塾(長期実習)を修了し、市内で伝統工芸の職人を目指し、起業または就業する者を対象に奨励金等を交付	

来年度へ向けて	R5年度の実績	奨励金交付対象3件
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	越前ものづくりの里プロジェクト伝統工芸職人塾(長期実習)の修了生を対象に交付
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	特になし
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	ライブ映像による観光情報発信事業
R5年度 事業名	ライブ映像による観光情報発信事業

総合戦略 体系	254	『市民主役』で、さばえる！ひとが集い、挑戦できるまちをつくる	地域資源を活かす観光の推進	観光プランの充実や情報発信
------------	-----	--------------------------------	---------------	---------------

PLAN 計画	部署名	商工観光課		開始年度	2021	終了年度	9999
	目的	四季を通した西山公園などの最新ライブ映像を市ホームページ等で配信することにより、観光客に情報・魅力を効率的に提供し、西山公園等への誘客に繋げる。					
	概要	丹南ケーブルテレビ株式会社がサバエ・シティーホテル屋上に設置する360度カメラで撮影する映像を活用し、ストリーミングエンコーダー（信号変換・画像分配、ライブ配信機能）で加工した動画を、観光情報サイト「さばかん」やつつじまつり公式ホームページ等でライブ配信する。					
	法令等 根拠		実施 形態	内容	映像を配信するための初期機材を購入するとともに、映像提供費としてインターネット回線使用料を市が支払う		
	現在	市直営					

活動指標	指標名							
	単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025	
	市ホームページにおけるライブ映像配信	回	目標値	1	1	1	1	0
			実績値	2	2	2	2	
	成果指標							
	指標名							
	単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025	
	観光専用サイト「さばかん」閲覧ページ数 ※2023年度から西山公園来場者に変更(人)	件	目標値	850,000	1,000,000			
			実績値	1,222,852	1,264,863			
	計算 根拠	2023年度から成果指標を西山公園来場者に変更	達成率	143.9	126.5			
			実数値					
	西山公園来場者	人	目標値			650,000	700,000	0
			実績値			657,508	797,000	
	計算 根拠	2024年観光客入込数(1月～12月)	達成率			109.6	113.8	
			実数値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額		198	66	66	66		事業タイプ	単独事業
	決算額		198	66	66	66		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	7	1	3	201	観光事務諸経費	967	66
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	66

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	0.02
	会計年度職員	0
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ			
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ			
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み			
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
10	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	ライブ映像を観光ホームページで配信することで、季節折々の西山公園の風景や、西山公園の混雑状況などを配信。公園利用者に向けた情報の提供、利便性向上に繋げる。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	ライブ映像を観光ホームページで配信することで、季節折々の西山公園の風景を自宅で楽しむことができたほか、西山公園の混雑状況など把握することができ、ホームページの閲覧数の増加につながった。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	特になし。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	特になし
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	海外で売れる商品開発支援事業
R5年度 事業名	海外で売れる商品開発支援事業

総合戦略 体系	121	『世界に挑戦』で、さばえる！稼ぐ地域、魅力ある仕事をつくる	既存産業の高度化	地域産業の活性化
------------	-----	-------------------------------	----------	----------

P L A N 計 画	部署名	商工観光課	開始年度	2021	終了年度	2024
	目的	越前漆器の海外に通用する商品開発において、ブランド力の向上およびSDGsに沿った商品開発は必要不可欠であるため、産地内の経営者、職人にSDGsの重要性を認知してもらい、それを踏まえ専門家指導のもと、国内外を視野に商品開発を行う。				
	概要	越前漆器協同組合とジェトロ福井が連携し、アジアでの販路開拓を実施する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	越前漆器協同組合へ委託し、アジアでの販路開拓を支援する。	
	現在	民間等委託(全部)				

活動指標	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	事業プロモーション、情報発信		回	目標値	3	3	3	3	3
				実績値	3	3	3		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	新製品開発数		型	目標値	3	3	3	3	3
				実績値	6	3	3		
	計算 根拠			達成率	200	100	100		
				実数値					
				ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額		5,000	3,000	3,000	3,000		事業タイプ	補助(国)事業
	決算額		5,000	3,000	3,000			経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	7	1	2	203	地域産業振興事業費	38,736	3,000
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	3,000

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)
	1	デジタル田園都市国家構想交付金(国1/2)		1,500
	2			
	3			
	4			
	5以降			
		合計	1,500	

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				効率性 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ				
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み				
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☐ ない ☒ ある				
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	有効性 成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない
12	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善	
	9点～16点	維持または 事務改善		

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	越前漆器協同組合へ委託し、アジアでの販路開拓を支援する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	台湾で行われた展示会「CREATIVE EXPO TAIWAN2023」に出展し、越前漆器のPR活動を実施した。6日間で約3万人が来場。80点の出品のうち40点以上がサンプル購入につながった。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	台湾での活動を踏まえた商品開発や、これまでの実績を踏まえたアジア等への販売可能性を探る必要がある。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	計画期間終了。
	R7方向性⇒	廃止

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	さばえの産業PR事業
R5年度 事業名	さばえの産業PR事業

総合戦略 体系	121	『世界に挑戦』で、さばえる！稼ぐ地域、魅力ある仕事をつくる	既存産業の高度化	地域産業の活性化
------------	-----	-------------------------------	----------	----------

P L A N 計 画	部署名	商工観光課	開始年度	2021	終了年度	2024
	目的	鯖江商工会議所がウイズ・ポストコロナ時代における市内事業所の販路開拓支援事業を実施するにあたり、鯖江市として負担金を支出する。				
	概要	コロナ禍により様々な事業活動において、オンラインの活用が急速に進展。販路拡大においてもオンライン展示会をはじめとし、動画プロモーションスキルが必要とされることから、実地を含めたモデル企業への支援プロセスを公開することで、産地全体の底上げに繋げる。(2021年度まで)「デザイン」「ビジネス」「テクノロジー」の3軸による販路開拓に向けた立体的支援の提供に基づき市内眼鏡・繊維・漆器関連企業が出展するバーチャルモールを構築し販路開拓に繋げる。(2022年度以降)				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
	現在	補助金等交付		鯖江商工会議所の提案事業を精査し負担金として支出。		

活動指標									
指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
※設定困難				目標値					
				実績値					
成果指標									
指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
動画作成数(2021年度まで)				目標値	5				
				実績値	6				
計算 根拠				達成率	120				
				実数値					
バーチャルモール新規出展企業(2022年度以降)				目標値		30	30	5	5
				実績値		39	5		
計算 根拠	2022よりの事業であり、新規出展企業は少ない。			達成率		130	17		
				実数値					
				ランク	A	A	C		
前年度 ランク B、Cの 理由	今事業において、2023年度は新規事業者を5社に選定したため。								

事業費

【単位：千円】

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額		3,000	3,000	3,000	3,000
決算額		3,000	3,000	3,000	

タイプ	会計	一般会計
	事業タイプ	単独事業
	経費区分	補助費等

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	7	1	2	603			3,000
2							
3							
4							
5以降							
合計							3,000

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員

正規職員	0.05
会計年度職員	
※所要時間	0

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある

合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
9	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している

市民団体や事業者による業務委託しているか。
(1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない

有効性

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R6方向性⇒ 事務改善(業務プロセスの改善)

取組内容

MADEFROM等のリアル・オンラインの展示販売会を実施し、新規出展する市内企業に対してPR動画付き真贋判定システムを作成する。

来年度の実績

「デザイン」「ビジネス」「テクノロジー」の3軸による販路開拓に向けた立体的支援の提供に基づき市内眼鏡・繊維・漆器関連企業が出展するバーチャルモールに新規出展する市内5社に対してPR動画付き真贋判定システムを作成し、消費者に対しての信頼安心を提供し、PR動画を通して鯖江の産業をPRし、リピート購入に繋がる販路開拓を支援した。

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題

R5年度はPR動画付き真贋判定システムを作成し、消費者に対しての信頼安心を提供し、PR動画を通して鯖江の産業をPRし、リピート購入に繋がる販路開拓を継続して支援する。

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点

事業全体の見直し

R7方向性⇒ 事務改善(手段・サービス水準の見直し)

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	子育て世代応援企業認定事業
R5年度 事業名	子育て世代応援企業認定事業

総合戦略 体系	132	『世界に挑戦』で、さばえる！稼ぐ地域、魅力ある仕事をつくる	若者に魅力ある働く場の確保	若者の就労機会の確保
------------	-----	-------------------------------	---------------	------------

P L A N 計 画	部署名	商工観光課	開始年度	2022	終了年度	9999
	目的	子育てと仕事が両立できる職場環境づくりを積極的に行っている市内企業を認定し、育てやすい暮らしやすいまちづくりを推進する。また、市内企業のイメージアップを図ることで市内産業の活性化につなげる。				
	概要	●子育てと仕事が両立できる職場環境づくりを積極的に行っている市内企業の認定。 ●子育て世代応援企業に認定された企業に県外から移住し就職する者への奨励金交付。				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	事業PRを効果的に行い、市内企業の認定証の交付事務と移住者への奨励金交付事務を行う。	
	現在	補助金等交付				

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	事業広報回数		回	目標値		3	3	3	3
				実績値		3	3	3	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	認定企業数		社	目標値		10	10	5	5
				実績値		10	3	3	
	計算 根拠			達成率		100	30	60	
				実数値					
			ランク		A	C			
前年度 ランク B、Cの 理由	申請企業数が伸び悩んだため。								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額			6,800	2,400	1,000		事業タイプ	単独事業
	決算額			999	420	520		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	7	1	2	203	地域産業振興事業費	38,736	1,000
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	1,000

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.08
	会計年度職員	0
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				効率性 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ				
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み				
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☐ ない ☒ ある				
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	有効性 成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない
11	0点～8点 9点～16点	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善	維持または事務改善	

ACTION

今年度	R6方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
取組内容	認定企業を増やすため、事業の周知徹底を行う。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	認定企業:3社 子育て世代応援企業移住就業奨励金:2名
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 認定企業、移住奨励金ともに件数増加のために広報をより行う必要がある。	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 ホームページでの企業紹介について、企業がどのような取組を行っているかの紹介も併せて行う。	
	R7方向性⇒ 事務改善(業務プロセスの改善)	
CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由		

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択		不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況		未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	チームさばえ出展販路開拓支援事業
R5年度 事業名	チームさばえ出展販路開拓支援事業

総合戦略 体系	121	『世界に挑戦』で、さばえる！稼ぐ地域、魅力ある仕事をつくる	既存産業の高度化	地域産業の活性化
------------	-----	-------------------------------	----------	----------

PLAN
計画

部署名	商工観光課		開始年度	2022	終了年度	2024
目的	機械要素技術展、関西機械要素技術展にて、さばえのものづくり技術に欠かせない金型、金属加工、表面処理の技術力を集結させたチームさばえブースを出展し、めがねのまちさばえのブランド力向上と出展企業の異分野進出と販路拡大の新たなビジネスシーンを構築する。					
概要	さばえのものづくりに欠かせない金型、金属加工、表面処理の技術力を中心に、世界に誇る鯖江技術を機械要素技術展および関西機械要素技術展において、共同ブースを出展し、個社の販路拡大と新たなビジネスシーンの構築、さらには「めがねのまちさばえ」のブランド発信とブランド力向上を目指す。					
法令等根拠			実施形態	内容	展示会の小間契約と支払い事務のほか、出展者募集から選定を行い、6月と10月の機械要素技術展に出展する。	
現在	民間等委託（一部）					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	チームさばえ出展販路開拓支援事業出展企業数		者	目標値		8	16	16	16
				実績値		8	16		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	ブース来場者数		人	目標値		400	800	1000	1000
				実績値		573	1281		
	計算 根拠	各企業名刺交換件数の合計 1社あたり950件の名刺交換を目標とする		達成率		143.3	160.1		
				実数値					
				ランク		A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額			12,376	25,000	25,525		事業タイプ	補助(国)事業
	決算額			12,376	24,702			経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	7	1	2	203	地域産業振興事業費	38,736	25,525
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	25,525

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)
	1	出展企業からの参加料			500
	2	デジタル田園都市国家構想交付金(国1/2)			12,535
	3				
	4				
	5以降				
				合計	13,035

事業要員	正規職員	0.34
	会計年度職員	0
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ			
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ			
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み			
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☐ ない ☒ ある			
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☐ ない ☒ ある			
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
11	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	6月19日～21日に東京で開催の機械要素技術展と10月2日～4日に大阪で開催の関西機械要素技術展に出展する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	第28回機械要素技術展に市内企業8者と共同出展 名刺交換件数は合計で759件
		第26回関西機械要素技術展に市内企業8者と共同出展 名刺交換件数は合計で522件。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	出展企業について、新規参加企業の掘り起こしを行う必要あり。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	来年度展示会参加会場、費用負担等を見直し、事業を継続する。
R7方向性⇒ 事務改善(手段・サービス水準の見直し)		
CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由		

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択		不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況		未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円): 0	
R7年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円): 0	

R6年度事業名	さばえものづくりビジネスマッチング支援事業
R5年度事業名	さばえものづくりビジネスマッチング支援事業

総合戦略体系	121	『世界に挑戦』で、さばえる！稼ぐ地域、魅力ある仕事をつくる	既存産業の高度化	地域産業の活性化
--------	-----	-------------------------------	----------	----------

PLAN計画	部署名	商工観光課	開始年度	2022	終了年度	9999
	目的	ものづくりに強い都市部企業のネットワークを活用し、市内企業の技術力を全国に発信し、新たな販路開拓を支援する。				
	概要	ものづくりに強いビジネスマッチングサイト等を展開する都市部企業との連携し、市内企業3社をモデル企業として選定し、新たなビジネスパートナーの掘り起こしを支援する。				
	法令等根拠		実施形態	内容	リンカーズ株式会社に事業を委託し、モデル企業3社の募集を行い、随時、大手企業との面談を実施する。	
	現在	民間等委託(一部)				

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	面談件数		件	目標値		3	3	8	
				実績値		6	11	7	
	計算根拠	支援企業が面談を実施した大手企業数	達成率		200	366.7	87.5		
			実数値						
				ランク		A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額			7,140	7,700	7,700		事業タイ	補助(国)事業
	決算額			7,139	7,589	7,578		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	7	1	2	203	地域産業振興事業費	38,736	7,700
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	7,700

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)
	1	デジタル田園都市国家構想交付金(国1/2)		3,850
	2			
	3			
	4			
	5以降			
		合計	3,850	

事業要員	正規職員	0.34
	会計年度職員	0
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				効率性 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している 業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している 市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☒ いる ☐ いない 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☒ いる ☐ いない 有効性 成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ				
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み				
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	
13	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善	
	9点～16点	維持または 事務改善		

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組 内容	鯖江市内の企業3社を選定し、大手企業との面談をマッチングする。	

来年度へ 向けて	R5年度の実績	鯖江市の企業が持つ3件の技術について11社との面談に繋がった。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	
	R6年度は、4社の応募があり、よりマッチング結果につながる企業を選定するため、福井産業支援センターにも審査員を委任した。	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	広範囲でのマッチングを支援するため、補助金へ変更する。
R7方向性⇒ 事務改善(手段・サービス水準の見直し)		
CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由		

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択		不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況		未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円): 0	
R7年度 事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円): 0	

R6年度 事業名	さばえビジネスプレゼン塾開催事業
R5年度 事業名	さばえビジネスプレゼン塾開催事業

総合戦略 体系	121	『世界に挑戦』で、さばえる！稼ぐ地域、魅力ある仕事をつくる	既存産業の高度化	地域産業の活性化
------------	-----	-------------------------------	----------	----------

P L A N 計 画	部署名	商工観光課	開始年度	2022	終了年度	9999
	目的	市内企業の持つ技術や製品、サービスを効果的に伝える実践的プレゼンテーション能力の向上を支援する。				
	概要	鯖江商工会議所との連携のもと、年間を通じて（10回シリーズにより開催予定）、市内企業のプロモーション能力向上を目的にセミナー等を開催する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	鯖江商工会議所に事業を委託し、さばえビジネスプレゼン塾を開催する。	
	現在	民間等委託（全部）				

活動指標								
	指標名	単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	ビジネスプレゼン塾の開催		目標値		10	10	8	8
			実績値		10	10	7	
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	ビジネスプレゼン塾の受講者	人	目標値		150	180	150	100
			実績値		169	198	86	
	計算 根拠		達成率		112.7	110	59.3	
			実数値					
			ランク		A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由							

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額			1,800	1,600	1,800		事業タイ	補助(国)事業
	決算額			1,500	1,600	1,425		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	7	1	2	203	地域産業振興事業費	38,736	1,800
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	1,800

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)
	1	デジタル田園都市国家構想交付金(国1/2)			900
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	900

事業要員	正規職員	0.04
	会計年度職員	0
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ		
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ		
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み		
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☐ ない ☒ ある		
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
12	0点～8点 9点～16点	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	著名なプレゼンテーションクリエイターを招致し、ビジネス層に向けたビジネスプレゼンテーションの勉強会を開催する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	全10回のビジネスプレゼンテーションに関する勉強会を開催し、198人の参加者に向け市内企業のプロモーション能力の向上を図った。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	参加者増加につながる周知方法を見直す必要あり。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	より実務者向けの専門的な講座も実施する。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択		不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況		未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	女性起業家育成事業
R5年度 事業名	女性起業家育成事業

総合戦略 体系	141	『世界に挑戦』で、さばえる！稼ぐ地域、魅力ある仕事をつくる	ジェンダー平等で働く誰もが輝けるまちの創造	女性の活躍支援
------------	-----	-------------------------------	-----------------------	---------

P L A N 計 画	部署名	商工観光課	開始年度	2022	終了年度	9999
	目的	女性起業家および女性従業員の経営スキル向上に向け、起業体験や専門家の指導を通してビジネスの仕組みや起業の基本を身につけるプログラム「鯖江メリコア」を開催し、女性起業家の育成ならびに女性管理職の増加を目指す。				
	概要	法政大学と鯖江商工会議所、鯖江市との3者連携事業として、女性起業家の経営スキル向上に向け、起業体験や専門家の指導を通してビジネスの仕組みや企業の基本を身に付けるプログラム実施。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	鯖江商工会議所に事業を委託し、法政大学の持つスキルを活用した女性起業家育成女性活躍プログラムを開催する。	
	現在	民間等委託(全部)				

活動指標	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025	
	セミナーの開催回数		回	目標値		4	4	4		
				実績値		4	4			
	成果指標									
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025	
	参加者数		人	目標値		10	10	10		
				実績値		10	11			
	計算根拠	うち卒業要件充足者10人、他出席者6人		達成率		100	110			
				実数値						
				ランク		A	A			
	前年度ランクB、Cの理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額			2,000	2,000	2,000		事業タイプ	補助(国)事業
	決算額			2,000	2,000			経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	7	1	2	203	地域産業振興事業費	38,736	2,000
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	2,000

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	デジタル田園都市国家構想交付金(国1/2)		1,000	
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	1,000

事業要員	正規職員	0.17
	会計年度職員	0
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				効率性 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ				
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み				
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	有効性 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☒ いる ☐ いない
15	0点～8点 9点～16点	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善	維持または事務改善	

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	鯖江商工会議所に事業を委託し、法政大学の持つスキルを活用した女性起業家育成女性活躍プログラムを開催する。	

来年度へ 向けて	R5年度の実績	卒業要件充足者9人、他出席者2人。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	参加者増加につながる周知方法を見直す必要あり。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	計画期間終了。
	R7方向性⇒	終了

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択		不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況		未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度 事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	観光イベント開催事業
R5年度 事業名	観光イベント開催事業

総合戦略 体系	251	『市民主役』で、さばえる！ひとが集い、挑戦できるまちをつくる	地域資源を活かす観光の推進	産業観光の充実
------------	-----	--------------------------------	---------------	---------

P L A N 計 画	部署名	商工観光課	開始年度	2022	終了年度	9999
	目的	新型コロナウイルス感染症の拡大で外出自粛などを起因としたイベントの規模縮小や開催中止などが相次いでおり、イベント自体の集客力の落ち込み、客足が遠のいている。そこで、感染対策や新しい生活様式に対応したイベントを開催することで、集客力の回復、市民のイベントに対する活動意欲の向上を図る。				
	概要	市民・事業者に求められることはもちろん、観光客にも訴求力のあるイベントを開催する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	訪れる観光客のターゲットを変えたイベントを開催する。	
	現在	民間等委託(全部)				

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	イベント来場者数		人	目標値		100	150	150	150
				実績値		100	0	191	
	計算 根拠	シャトルバス乗車 (R6～ 久保田酒屋:レンタサイクル、tetote:さばえ周遊タクシー)	達成率		100	0	127		
			実数値						
				ランク		A	C		
	前年度 ランク B、Cの 理由	令和5年度は新規事業のサンドーム福井でのコンサートに訪れた方達を街なかに誘導し、街なかの賑わい創出を行なったため未実施。							

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額			330	350	550		事業タイプ	単独事業
	決算額			223	0	346		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	7	1	3	206	観光誘客事業費	26,214	550
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	550

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	0.08
	会計年度職員	0
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				効率性 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ				
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み				
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☐ ない ☒ ある				
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	有効性 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
10	0点～8点 9点～16点	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善	維持または事務改善	

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	今までに行っていないコスプレフェスなど多種多様な層のニーズに届くイベントを開催する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	令和5年度は新規事業のサンドーム福井でのコンサートに訪れた方達を街なかに誘導し、街なかの賑わい創出を行なったため未実施。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	令和5年度は新規事業のサンドーム福井でのコンサートに訪れた方達を街なかに誘導し、街なかの賑わい創出を行なったため未実施。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	多種多様な方が楽しめる総合的なイベントの企画を実施。
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択		不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況		未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	
R7年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円): 0	

R6年度 事業名	西山公園イルミネーション事業
R5年度 事業名	西山公園イルミネーション事業

総合戦略 体系	253	『市民主役』で、さばえる！ひとが集い、挑戦できるまちをつくる	地域資源を活かす観光の推進	西山公園エリアの充実
------------	-----	--------------------------------	---------------	------------

P L A N 計 画	部署名	商工観光課	開始年度	2022	終了年度	2024
	目的	西山公園でイルミネーションを実行し、鯖江のシンボル公園である西山公園の魅力を高め、イルミネーションを活用した様々な事業展開を図り、街なか観光の推進を図る。				
	概要	西山公園のイルミネーションを活用し、街なかと連携した事業展開を行う。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	西山公園イルミネーションフェス実行委員会を開催し、イルミネーション期間中に参画団体主催のイベントを開催する。	
	現在	補助金等交付				

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	イベント回数			目標値		1	1		
				実績値		1	1		
	計算 根拠			達成率		100	100		
				実数値					
	イベント来場者(※2024年度～)			目標値				100	100
				実績値					
	計算 根拠			達成率					
				実数値					
				ランク		A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額			4,000	6,468	3,487		事業タイ	補助(県)事業
	決算額			4,000	6,468			経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	7	1	3	206	観光誘客事業費	26,214	3,487
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	3,487

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	夜間観光促進事業補助金(県1/2)		1,000	
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	1,000

事業要員	正規職員	0.08
	会計年度職員	0
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				効率性 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している 業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している 市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☒ いる ☐ いない 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☒ いる ☐ いない 有効性 成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ				
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み				
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☐ ない ☒ ある				
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	
10	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善	
	9点～16点	維持または 事務改善		

ACTION

今年度	R6方向性⇒	事務改善(他事業との連携・統合)
取組 内容	西山公園イルミネーションフェス実行委員会を開催し、イルミネーション期間中に参画団体主催のイベントを開催する。	

来年度へ 向けて	R5年度の実績	令和5年10月下旬～令和6年1月上旬の間、西山公園にてイルミネーションを実施。また、10月28日にイルミネーションフェスを開催。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	点灯期間は天気が悪いため、早めの点灯を検討する必要がある。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	公園利用者の促進を図る。
	R7方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由		

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択		不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況		未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	
	市民主役事業にかかる額(単位千円): 0
R7年度 事業名	
	市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

R6年度 事業名	デザイン経営セミナー事業
R5年度 事業名	デザイン経営セミナー事業

総合戦略 体系	121	『世界に挑戦』で、さばえる！稼ぐ地域、魅力ある仕事をつくる	既存産業の高度化	地域産業の活性化
------------	-----	-------------------------------	----------	----------

P L A N 計 画	部署名	商工観光課	開始年度	2023	終了年度	2025
	目的	持続可能な地場産業として発展するため、デザイン思考を活かした経営マインドの造成を図る。				
	概要	越前市と連携し、丹南地域の未来の地場産業を支える経営者の育成を図るため、デザインスクールの開講や地域内産業の交流の場の創出において新たな商品開発を生み出す。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	越前市と連携し、越前鯖江デザイン経営スクール実行委員会を組織し、デザイン経営シンポジウム、これからの価値づくりセミナー、商品・サービス開発プロジェクトを実施する。	
	現在	補助金等交付				

活動指標							
指標名	単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
実行委員会開催	回	目標値			1	1	1
		実績値			1	1	
成果指標							
指標名	単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025

ランク			A
-----	--	--	---

前年度 ランク B、Cの 理由	
--------------------------	--

D
O
実
施

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額				3,000	4,500		事業タイ	補助(国)事業
	決算額				3,000	4,500		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	7	1	2	203	地域産業振興事業費	38,736	4,500
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	4,500

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)
	1	デジタル田園都市国家構想交付金(国1/2)		1,500
	2			
	3			
	4			
	5以降			
		合計	1,500	

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	0
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ			
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ			
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み			
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
11	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	越前市と連携し、越前鯖江デザイン経営スクール実行委員会を組織し、デザイン経営シンポジウム、デザイン経営セミナー、商品・サービス開発プロジェクトを実施する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	越前市と連携し、越前鯖江デザイン経営スクール実行委員会を組織し、デザイン経営シンポジウム、デザイン経営セミナー、商品・サービス開発プロジェクトを実施した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	R6年度は外部紹介サイトへの記事掲載等人材確保プロモーション(広報)を強化し、参加した歴代の外部人材とのつながりを持続的なものにするため、これらをアーカイブ化する。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	アーカイブを利用し、越前市鯖江市両市民、事業所従事者の参加者を増やすことを目指す。
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択			不可能	不可能	不可能
実施状況			未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0